

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

September 2016

Écoutez Bien Vol.35 No.382

9

立川の農業はオシャレです!

表紙の人/YAZAWA LUMBER GROUP 三代 (錦町)



不思議の国、たちかわ

8月4日(木)、
立川駅北口周辺がまた新しくなった
いつも見ている
でも見えていないものもあるかもしれない

中央線で分けられている立川の南と北。JR立川駅がそのふたつをつないでいるが、この夏、さらにそのつながりを強くした。住む人も働く人にも便利になった。目新しいうちは話題にもなるが、やがて慣れてしまうのが人の常。「立川の街づくり——平成の立川」も最終回。目線を変えて街を見渡すと、いつも見ているはずなのに改めて見ると新しい。そんなものが目についた。

2008年5月号の「えくてびあん」でファーレ立川の特集をした。放置自転車でアート作品が隠れていた、どうしてもこの作品を鑑賞することはむずかしいだろうという位置にあったりと驚きに満ちた取材だった。しかし取材を重ねると別のアート鑑賞方法がわかってきて、観るから楽しむに変化した。アム近くにある縦半分に分かれた車。強化プラスチックで歩道の色とまったく同じに創られている。もしこれを真上から見ると、歩道に同化して車の存在は消えるに違いない。でも、真上から鑑賞することは不可能なのだ。建物に描かれた赤い線。モノレールに乗っているとハートの形に見えてくる。でも地面に足をつけて歩いていると赤い線は円になる。

2014年には立川駅北口西側、まさにこの度再開された地域のジオラマに出会うことができた。ジオラマ自体がアートだったが、そこに掘り起こされる時代の積み重ねもまた、立川の大切なしなければならぬものだと感じた。ジオラマにある「赤い屋根のかわいらしい化粧品屋さん」は、50年以上という時の流れを経て、今なおそのままに建っている。歩いていると見過ごすが、鳥の目にははっきり写っている。

立川は、街全体がトリックアートなのかもしれない。

130mという高さから真下を見てみた。足がすくむ高さだが、新しくなった立川駅周辺がよくわかる。丸や四角、台形など動かない形の上をモノレールや人間が動き回る。これ自体が時間や空間を表すアートのようなのだ。

立川はまだこれからが期待される街。心あるまちづくりを願いたい。歴史を知る人たちも、未来を担う人たちも、どんな人も「わが街立川」と誇れるように。



タクロス広場を上から見る



タクロスの北側方面 昔の銀座通り沿いには昭和30年代の建物(赤い屋根)がそのまま残っている



ファーレにある作品だが、この位置で観ることはできない



あるところからだと、赤いハートに見える



場所をかえると赤い円になる

禅の国、日本?

お互いに嬉しい「勘違い」

今西館長に続く国文研第二弾

フランスからいらしたダヴァン先生に流暢な日本語で語ってもらった

フランスの事情

前号で今西館長が「50/50のグローバルは、日本人研究者も英語かフランス語ができないといけない」という主旨のことを話されていました。僕はフランス語は大丈夫です。フランス語には自信があります(笑)。

日本文化はフランスで大変人気があります。ひと昔前、日本の映画はどちらかというと、日本よりもフランスの方が人気があると言われていたくらいです。日本の漫画が一番売れている国は、日本の次はフランスだそうです。日本の漫画のほとんどが仏訳されていると言っていいと思います。マニ

アックだと思われるものでも、なぜかフランス人が知っている場合もあります。フランスの本屋さんに行くと、日本の本屋さんに負けないくらいの漫画本が置いてあります。

日本文学も昔から人気があります。日本思想も人気がありますが、そこには少し「勘違い」が入っていると思います。今西館長のおっしゃる通りですね。日本のものが海外に出ていくのはいいことだと思いますが、翻訳を通せば理解はどうしても変わってくるわけです。実際はどう理解されたか、その理解に基づいて日本への憧れとかイメージがどう作られたか。それはこれからの研究の大きなテーマのひとつだと思います。

一休さん

私は一休を研究しています。一休に興味を抱いたのは割と早い段階からですが、それは私の「勘違い」からでした。もともと日本語ではなく哲学に興味を持っており、そこに至るには美学があり、パリの大学で修士論文を書くときに選んだのは、美学の価値観がどういう風に生まれてくるか、ということでした。たまたま図書館で柳宗悦の論文集を見て、お茶の茶碗が室町以前はそれほど価値がなかったのに、戦国になるとものすごく価値が出てくる。短期間で価値が変わった、それならそれを研究しようと思って先生に相談しました。先生に「初心には難しすぎるでしょう」と言われました。お茶の美学が様々な分野でなりたっています。そのひとつに絞ってくださいと。そこで千利休、武野紹鷗、村田珠光、週れば一休。そこで一休を研究すればお茶の美学を理解できるだろうと思って一休の研究をすることにしました。結局、今はお茶とは何の関係もない研究をしていますけれど。

一休を研究するということは、最初は漢詩ですから文学ですね。でもそれはやればやるほど、文学と思想と両方やらなければならない。それを深めて結果的に思想の方に進んだということです。日本思想です。思想

とは何か? いやな質問をしますね。実は思想という言葉は便利で、本心は哲学という言葉を使いたいのですが、哲学という言葉を使うと「日本に哲学はあるかないか」というような硬い話になってしまいますから、思想という言葉を使っています。「仏教思想」という使い方もしますね。みんな思想という言葉を使っていますが、では思想とは何かと訊かれたら、困る人が多いでしょう。

一休さんの漫画はもちろん知っています。国文研にいらした岡雅彦先生の本『とんち小僧の来歴』にありますように、一休さんはとんち小僧と言われていますが、実は違います。江戸時代に人気を博した大人の一休の像もフィクションです。室町時代のお坊さん、臨済宗の僧である一休のおもしろい所は、私には「狂雲集」にあります。お酒を飲んだりとか、女性と関係を持ったりとか、そういうことを平気で書いている。それが一休の特徴として一番知られているところでしょうね。破戒坊主のイメージが強いと思います。一休を理解したとはとても言えませんが、思想的に言いますと、一休は日本臨済宗のものすごく大事な転機に立っていて、一休を理解すれば日本臨済宗の大事なことも理解できると言えるのではないかと思います。

私のやりたいこと

意外と日本の禅ってわからないところが多いです。世界中にとっても人気があった分野ですから、全部研究されていると思うがちですが、実はそうではない。江戸時代以前の鎌倉、室町の思想的内容はわからないところがまだ多いですね。で、解明のヒントのひとつは一休だと思うのです。今の臨済宗は白隠禅と言われているのです。白隠は江戸時代の人ですが、彼までに至る過程が一休の時代に始まったのです。

禅は日本の社会にどういう影響を与えたか。20世紀には「禅と日本文化」という本がいくつかありますが、鈴木大拙先生の本が一番有名でしょう。大変著名であるが、一方とても批判されるわけです。最近ではその本の理解が見直されていますが。鈴木大拙などの影響で長い間「日本文化=禅」と

いう「勘違い」が起きることになります。今でもそう考えている人は少なくないでしょう。たとえば俳句と禅が関係あると言われてるのは鈴木大拙の影響があると言われていますが、よく見れば芭蕉の句を禅的に解釈するということは割と早い段階、鈴木大拙よりもずっと前からありました。確かに、日本の文化はなんでもかんでも禅という過ちは過ちであって直さないといけないのですが、では何も関係なかったかというところでもありません。芭蕉の周囲には禅の修行をしている在家の人たちがいて、その人たちは自分たちの理解していた禅に基づいて俳句を解釈したことは間違いない。ですから、もう一度きちんと思想を理解して、お坊さんたちがどのように在家と関わってきたか、あるいは在家はどういう風に禅を理解しようとしたのかを、突き詰めなければならない。日本思想と文化を往来することで、何か見えてくるのではないかと期待しています。僕のやりたいことは、だいたいこのようなことです。すみません、長くて(笑)。

「勘違い」はどこから来たか

金閣寺は禅寺ですよ。でも禅寺として誰が観ているでしょうか。東山文化的なものが禅の象徴であるというイメージがいつから生まれたか。それは僕も知りたいところです。禅といえば竜安寺の枯山水というイメージが浮かんでくるでしょう。それは日本だけでなく世界中そうです。正しいとか間違っているとかでなく、イメージとしてはありますよね。その「勘違い」はどこから来たか。西洋人が禅はそういうものだと思っていたわけではないし、日本人が嘘の禅を作って見せたわけでもない。『禅という名の日本丸』を書いた山田獎治は「魔法の鏡」という言い方をしていますが、自分が美しいと思っているイメージを相手に出す、相手も自分の思う美しいイメージを示す。つまり西洋(主にアメリカ)が、自分たちが持っていたイメージに基づいて「禅は素晴らしい」と言ってきたわけです。日本は、「ああ、そうですか。では僕たちは禅です」みたいに。お互いが喜ぶ嬉しい「勘違い」。そのような経緯で今の禅

のイメージができたと思うのです。西洋に何かが欠けている、宗教が弱くなった時に物足りなさを感じる。科学は強くなったのですが、何かが欠けていてその欠けている部分は実は東洋にあると。いわゆるアジアだけでなく、概念としての東洋ですね。東洋の何か、そのひとつが禅だということです。おそらくチベット仏教も同じことだと思います。確かに「勘違い」ですが、日本から観ると嬉しい勘違いですね。「あなた、すばらしいですね」「ああ、そうですか。じゃあすばらしいです」ということですね。

研究者の仕事

勉強は大嫌いです。得意じゃないし。でも研究は好きです。他のものが下手過ぎてできないというのがありますが、これしかできないから研究しています。研究者というものはものすごく贅沢だしわがままですね。自分が気になることを突き詰める。それを皆さんの税金でさせて頂いているのですから、本当に申し訳ない。僕は毎日、感謝しています。それならば、逆に何を返せばいいかという問題ですが、自分の理解したことを、考えたことをできるだけ発信することだと思っています。誰もができるわけではないものすごく専門的なことを研究することで、このわがままを許して頂けると勝手に思っているわけです。存在意味がありませんと言われても正直、反論できないです。たとえば、一休を全部理解したとしても、じゃあ社会に何の役にたちますかと言われるたら、それまでです。が、逆にそういう文化がないと社会の意義もなくなってしまうのではないのでしょうか。日常生活以外のことを考え始めたのが文明の始まりだと思っています。ちょっと飾ろうとか、ちょっと絵を描こうとか。それを詳しく調べるのが研究者の仕事で、こちらから発信することよりも、そこで何を伝えられたか、相手が何を受け取ったかがとても大事だと思っています。研究成果のシンポジウムを聴いて「豊かな気持ちになった」と言っていたいただければ、それはとてもありがたいことでこれ以上ない嬉しいことです。

ダヴァン・ディディエ氏

Didier DAVIN 国文学研究資料館 准教授。東京大学に4年間留学、2年間はインド哲学、2年間は東洋文化研究所に在籍。その後パリ大学で博士号を取得、フランス国立極東学院東京支部の代表として赴任。2016年4月から現職。



1日だけのレストラン

野菜好きが集まる場所

無農薬野菜にこだわる生産者

その野菜でおいしいものを作る調理人

西砂町に集まってきたのは、野菜の大好きな方たちでした

立川市西砂町5丁目。この場所で古くから代々続いている農家、鈴木農園。

少し前まで庭先に『ゼルコバ』というパン屋さんがありました。鈴木農園のお嬢さんご夫婦がやっていたお店。おしゃれな雑誌やおいしいものを集めたサイトで有名なパン屋さんでしたが、残念ながら今年の春、山梨県北杜市白州町に移転してしまいました。

4月23日、『ゼルコバ』が移転した後、今季初めての農産物直売『鈴木農園のマルシェ』が開催されました。今までは『ゼルコバ』目当てのお客さまもいらしたけれど、農産物直売だけになったので、お客さまがいらっしやなかったらどうしよう…。心配は無用でした。一般客はもちろん、レストランのシェフたちも、大きな籠を持参してやってきました。

香り高い野菜。甘みや苦み、野菜のもつ本来の味を感じられる。そんな野菜にこだわって完全無農薬で作っています。生産者の思いをしっかりと受け止めたシェフたちは、その野菜が一番おいしく食べられる料理を工夫します。誰だって、そんなすてきな料理を食べてみたい。和食もフレンチも、いろいろ試して食べてみたい。みんなの思いを満足させてくれるのが、『1日だけのレストラン』。

7月17日(日)。11時にオープンした『1日だけのレストラン』。東村山から〈美酒佳肴 大ing〉、国立からはフランス料理〈マルセル〉が、立川市富士見町から和食〈榎本哲也〉が出店しました。ランチのみの提供でしたが、鈴木農園のお庭には100人以上のお客さま。さあ、何からいただきますしょう。「トロトロなすのそぼろ田楽」もいいなあ。「元気野菜の手作りさつまあげ」も魅力的。「牛ほほ肉のクスクス」！なんてすてきなのでしょう。オレンジミントの炭酸割もいただきました。

西砂町。横田基地に近い立地なのに、『1日だけのレストラン』には駐車場がありません。それでも若い家族が、年配のご夫婦が、おなかもいっぱい、いい時間を過ごしてお帰りになりました。立川の農業って超オシャレ！



ポケモン GO を楽しんでいる皆さま、ここはポケストップです。モンスターボール取り放題。



鈴木農園さんのお友達 snow peak さんも協力していました。



えくてびあんの輪		
えくてびあんはリストのお店にあります。 今月は 栄町・高松町・曙町 のお店です。		
栄町	彩食中華 須崎	507-0981
	寝具の石川	524-1333
	手作りパン工房 Bonheur ～ボヌール～	536-3207
	FUKUSHIMAYA 立川店	534-1700
	相模屋酒店	536-2476
高松町	メンズカット ヤザワ	536-8738
	大型コインランドリー マンマチャオ栄町店	
	ルーデンス食堂	
	丸助青果店	522-3542
	米穀・食料品 横町屋	522-2609
曙町	中華料理店 太幸苑	527-0906
	セイロン風カレー シギリア	507-2418
	ふじ整体院	540-9155
	ライブハウス Crazy JAM	529-9507
	ライブ喫茶 炭火煎珈琲 はるもに	521-2959
曙町	立川湯屋敷 梅の湯	522-3800
	ヘアサロン イトウ	522-6281
	立川伊勢屋 本店	522-3793
	書籍・雑誌 フレンド書房	527-1555
	大野サイクル	523-2061
曙町	パンのお店 Dragee ドラジェ	525-2730
	立川キリスト教教会	526-6826
	サロン・ケベクア美容室	527-4716
	HAIR MAKES たしろ	525-2175
	うなぎ しら澤	524-5061
曙町	中華料理 福心樓	524-2343
	久住ハウジング (株)	527-8007
	不動産 大晋商事	525-3110
	ヤマハミュージックアカペニュー立川	523-1431
	蕎麦懷石 無庵	524-0512
曙町	TABACCONIST ゼフィルス	524-0514
	ブティック ASHUTE VENI-VENI	521-1481
	ビストロ シェ・タスケ	527-5959
	あら井館総本店	522-2957
	立川駅前北口整骨院	548-3339
曙町	大衆劇場 立川けやき座	512-5057
	立川伊勢屋 ルミネ店	524-3395
	たましん すまいるプラザ立川	0120-667-646
	オリオン書房 ルミネ立川店	527-2311
	みずほ銀行 立川支店	524-3121
曙町	コスメドール 辰己屋	524-6051
	エミリーフローグ 本店	527-1138
	キャフェ クリムト	526-3030
	黒毛和牛専門店 焼肉 FUKI	523-0166
	宮地楽器 MUSIC JOY 立川北	527-6888
曙町	TAKE THE HONEY スイーツ	523-8200
	三井住友銀行 立川支店	522-2151
	レストラン サヴィニ	525-1662
	立川献血ルーム	527-1140
	アートルーム 新紀元	528-6952
曙町	MOTHERS ORIENTAL	528-0855
	たましん 本店	526-7700
	和食どころ 若草茶屋	526-0010
	三上鯉節店	522-3259
	エフエムたちかわ	524-0844
曙町	ラ・フランス	529-5522
	ビックカメラ 立川店	548-1111
	Charcoal Dining るもん	527-3022
	酒亭 玉河	522-2654
	三菱東京 UFJ 銀行 立川支店	524-4121



真如苑提供番組〈常楽我淨〉

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我淨は
スマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。

J:COM 多摩：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

もっと便利になりました

立川駅北改札と西側自由通路が新しく開通し、エキュートがリニューアルオープンしました。もっと便利に、もっと快適になった立川。新しい出会いがいっぱいありそうです。



自由通路のテープカット（8月4日）



モノレールの下に新しい立川がお目見えです

また4年後に、立川立飛場所

みなさん笑顔で帰られた立川立飛場所。今回は4年後。もっとたくさんの方に楽しんでいただけるように、屋内でも数日間、という話もちラホラ。そうなるといいなと思います。直前に急逝された九重親方に黙祷を捧げると、どこからか黒いアゲハチョウが飛んできました。しばらく土俵周りを飛んでいましたが、なんだかとても印象に残りました。



開催前日には土俵のお清めもありました



STATION CAFE BASELで



Drip Maniaで



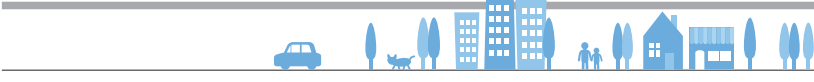
ふじようちえんの園児もがんばりました



土俵は手作りです
呼び出しさん3人と
立飛の社員さん、
それにボランティア
の皆さんで



練成館出身
立川出身の浜栄光



ゆるキャラグランプリにエントリーしました

立飛グループのイメージキャラクター「たっぴくん・たっぴちゃん」。ゆるキャラグランプリ2016にエントリーしました。「たっぴくん・たっぴちゃん」のモチーフは、もちろん立川飛行機が造っていた練習機、通称「赤トンボ」です。投票期間は7月22日～10月24日まで。ゆるキャラグランプリ2016の公式HPから投票できます。初回のみID登録が必要です（ガラケーからの投票はID登録不要です）。1日1票投票できます。立川生まれの企業キャラクターです。みんなで応援しませんか？

立川市消防団 ポンプ操法審査会

毎年暑い時期に行われる消防団のポンプ操法審査会が、7月24日（日）砂川五差路西側国有地において行われました。豊泉団長になって初めての審査会はお天気に恵まれましたが、降雨量が少なく取水制限中でしたので「火点を倒したら水を止める」という節水モードで行われました。隊員のみなさんは約2か月、この審査会のために練習を重ね、消防ポンプ操法を通して、形だけに終わらない「消防精神」を習得されるのだそうです。街を守る最前線。いつもありがたいなと思います。



たっぴくん・たっぴちゃん



公式投票ページ よろしくね！



平成28年度優勝の第9分団 選手のみなさん

おじゃましま～す！——[48]

鉄板焼 千珠 (Senju)

若いシェフの「おいしいお肉をおいしく食べてもらいたい」という思いが、ちゃんと味に表れています。それは食べればわかります。厳選した黒毛和牛のサーロインステーキ。お肉の外側をしっかりと焼いて旨みを閉じ込める。鉄板の上



で切り分けて、さらに切った面を焼くので、一口サイズにお肉の美味しさがギュッと凝縮されています。わざわざをのせて、クレンソールと一緒に大根おろしでさっぱりと。なんでしょ？ まろやかなお肉の甘みとピリッとした辛みが混ざり合っで、本当においしい。もちろんお肉だけいただくでもいいのですが、そこはシェフのこだわり。「こうして食べて頂くと、もっとおいしいんです！」うんうん、よくわかります、おっしやる通り！サシのきれいに入ったお肉ですが、脂っばさを感じません。このお肉、ランチでもいただけます。野菜はすべて、おいしい野菜作りにこだわる農家から直接仕入れる立川産。フランスのワイナリーでワインを作っていた経験もあるシェフは、ワインにも相当なこだわりがおります。ワインリストには生産者の顔写真と人柄が記されています。「ワインは作り手そのものです」とシェフ。生産者を直接知っているシェフが絶対の自信をもってお勧めするワイン。おいしいお肉と一緒に、いかがですか？

表紙の人

矢澤勝昭さん、俊一さん、俊樹さん（写真中央）
まさたか
暢堂さん（写真右）

撮影時、思わず口から漏れてしまいましたー「マールン・ブランドとアルパチーノって感じ」。錦町に本社を置く株式会社 YAZAWA LUMBERの皆さん。会長のお父様 弓一さんが初代。勝昭さんが二代目、現社長の俊一さんが三代目に当たります。勝昭さんの頃までは材木商でした。「二代目は浪花節、三代目は芸術・文化を理解し、四代目は芸能から海外へと幅広い分野へ」と勝昭さん。おっしやる通り、俊一さんにうかがうと仕事の拠点は青山にあるそう。お話していても誠実さが伝わってくる息子さんたち。ご立派ですねと申し上げると「今のところはね」と俊一さん。いえいえ、大丈夫ですよ、お父さんにそっくりですもの。ご長男の俊樹さんはもうご就職が決まったそうです。一度は外で苦労させる?のだとか。大丈夫かしら？ 読みたいなお坊ちゃま。かっこいい四代目たち、もうひとりのお祖父さまは、あの大鵬さんだそうですよ。

かたこと

◆立川がまた大きく変化しました。タクロスオープンに伴い、街の玄関、JR立川駅に改札が増えました。人の流れが変わります◆立川の各所にエネルギーが満ちていると感じたひと月でした。例えば立川の農業。美味しいものを追求するシェフと直接つながって、新鮮な地場野菜を届けたり、立川駅周辺でも朝どれ野菜の販売を始めたり、まさに都市型農業実践中です。街の安全を守る消防団も、ほとんどが農家の方で構成されているのをご存知ですか◆研究機関も頑張っています。「日本語の～」というテーマで行われた国語研の研究集会。外国人がたくさん参加されていました。内容は古典なのにデジタルな話、さらに極地研の先生もいて…。緑町の研究機関はグローバルかつ一体化しています◆立飛HDさんも走っています。次々飛び出す話題についていくのが大変です。夏巡業は楽しかったですね◆「ここは立川か？」と思わせるスタイリッシュな矢澤さんご一家。社長は文句なしのイケメンですが、息子さんたちがいい。「読モ」はファッション雑誌の読者モデルのことです。会長が「何事も積み重ねですよ」とおっしゃいましたが、引き継いで大きくしていけるのがすばらしい◆今月も皆さまから元気をいただいたえくてびあん。後半戦もがんばります！

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ⑨

9月号 第35巻 通巻382号

平成28年9月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。



諏訪神社に三尺の太鼓が奉納されました

蝉が鳴きはじめた7月12日(火)朝、石川県にある浅野太鼓楽器店から諏訪神社に大きな太鼓が運ばれてきました。太鼓の直径は三尺。重さは太鼓を置く台が80kg、太鼓は150kg、合わせて230kgもあります。太鼓には牛の背中側の革を使うそうです。三尺の太鼓には四尺の樹が必要で、奉納された太鼓には大きなケヤキが使われました。浅野太鼓さんにうかがうと、太鼓奏者で有名な方々の太鼓や、多摩地域の寺院や神社にもたくさん納められているそうです。

同日16時から奉納の神事が執り行われました。奉納した㈱立飛ホールディングスの石戸敏雄会長、村山正道社長、諏訪神社からは高橋重雄宮司、各町会の氏子総代の皆さまが参列、祝詞に続きおめでたい「浦安の舞」が舞われて、最後に試打。重厚な響きが拝殿に響いていました。

えくてびあんのFB ページでこの様子の動画をアップしましたら、一晩で15000回の再生回数となり、太鼓の力を改めて感じました。日本人は太鼓が好きですね。



浦安の舞 昭和になってから作られました



南も北もお祭りシーズン

8月の立川はお祭りの季節です。羽衣ねぶた祭、熊野神社例大祭、西砂川地域ふれあい松明祭り、曙まつり・曙町祭礼パレード、立川諏訪祭りなどなど、町会や商店街が賑やかになる季節です。事故やケガに注意して、たのしい夏休みを過ごしてくださいね。

諏訪神社駐車場で行われた紫一協和会の盆踊り
真如太鼓の演奏がありました

七番組自治会の夏祭り
恒例の松明まわしがきれいでした



曙町祭礼パレードの様子 (写真は曙町祭礼パレード実行委員会提供)